

脅かされる学問・思想・良心の自由… 憲法公布74年 街なかトーク!

「HappyBirthday 憲法」「学会会議任命拒否に抗議します!」の横断幕が翻った札幌パルコ前。SNSでの「ライブ中継」も行われた「公布74年、脅かされる憲法を守り生かそう!」とよびかける北海道憲法共同センターの「街なかトーク」は11月3日、各界の団体と地域センター、「9条の会」、労働組合の参加で大きな注目を集めました。

同日のテレビニュースや今朝の「道新」(右コピー)などでも大きく報じられた各界アピール。「政府に反対する人間は学会会議には入れない、そうとしか見えない首相の任命拒否は、真理・真実の探求をその使命とする学問の世界までが政権・軍部に支配され、国民から真実を見る目が奪われた戦前・戦中の痛恨の反省から定められた日本

11/3街なかトークのHBCニュース映像



11/3街なかトークのHBCニュース映像



国憲法の学問の自由規定を根底から破壊するもの」(憲法会議・齊藤耕弁護士、写真上)、「人事のことは言えない、そう首相がくりかえしているが、任命拒否された本人にも説明しない、そんなことはあり得ない。かつては大学(夕方のHBCテレビニュース↓)も戦争に協力せよとする『勅語』があった。そんな時代がまた亡霊のように蘇るのか」(北大職組・山形定委員長)など学会会議任命拒否をめぐる憲法の危機が訴えられ、医療、教育、くらしの現場からのよびかけに多くの人が足を止め、耳を傾けていました。

「生産性最優先で医療・社会保障を削減してきた政治こそ問われているのでは?」「軍事より医療へ」「核なき世界への役割こそを」と新婦人北海道本部の石岡伸子会長、小内浩・道民医連事務局長、平和委員会・石田明義弁護士。自由法曹団・渡辺達生さんが「公布から74年、憲法のその値打ちは少しも変わらないどころか今こそ輝いている」とアピールし、「改憲反対」「学会会議任命拒否撤回」を求める署名が寄せられました。

小森陽一講演会(11/14)申込み、まだ間に合います!!

新型コロナ感染拡大のパンデミック。問われてきたのは医療・社会保障削減を重ねてきた新自由主義の政治と経済のはずです。アメリカ発のBLM運動を含め「差別」「貧困」「格差」「命と医療」「食と農」「教育」「環境」「エネルギー」あらゆる問題で世界が問われ、大きく変わろうとし、7年8か月の安倍政治に代わる「新しい政治」こそが待ったなしで求められているときに、より反動的で野蛮な強権政治を行おうとする管政権に国の未来を託すことなどできるはずがありません。

憲法共同センターはこのあとも「コロナ時代に日本国憲法を考える」11/14講演会(小森陽一さん、エルプラザ)や改憲発議反対署名のとりくみ、「総がかり行動」(札幌は19日18時、大通り西3)など、全道での「2020秋の行動」強化をよびかけます。今こそ憲法を守り生かす「コロナ後」の新しい政治の実現へ声を!

- ① 憲法公布74年の「11/3行動」に続く「総がかり」行動(11/19)など、全道津々浦々から声をあげましょう。
- ② 「#日本学会会議会員任命拒否に抗議します」のSNS投稿や地域行動を全道で強化しましょう。
- ③ 「9条の会」小森陽一講演会など、「コロナ時代と憲法」を考えるとりくみを! *要「事前申し込み」予約殺到中!
- ④ 改憲発議を許さない(改訂版)全国緊急署名のとりくみ強化、「敵基地攻撃能力」学習。新「学習リーフ」活用を!